

日始せ！化石博士!!

田中 豊

8月7日(日)、延期され

ていた標記の自由研究ツアーガが27名参加のもと開催された。講師は岩本直哉専門員で、事務局、市民の会会員がサポートした。

当日はツアーアー開始直前

から雨が降り始めたが、長崎豊磯海岸で、講師から注意事項や採集出来る化石

の種類等の説明を受け、探索開始。開始後、雨も上がり暑さもさほどではなく各目、貝化石や、植物化石等を見つけることが出来た。約1時間半探しながら、貝化石やクジラの耳骨は見つけられなかつた。

午前のフィールドワーク終了後、それぞれ昼食をとり、午後の会場銚子ジオパーク・芸術センター実験室に移動。講師から、化石の基礎知識を学んだ後、いよいよ化石レプリカ造りを開始。今回のレプリカ造りはアンモナイト、トリゴニア、サ

ヤドカリの行動を探る!!

宮内 とし子

て午前の部は終了する。昼食は各自、自由行動です。

午後は実験室で13時開始。

1組道に迷つて遅れました。が予定通り始まりました。

パワーポイントにてヤドカリの生態、レポートの書き方の講義を受ける。

机の上に万力、秤、トレーを用意してあり、万力で殻

を割り、出て来たヤドカリの様子を親子で楽しそうに観察していました。最後に先生が飼育のし方を説明して、「何時でも良いのでわからない事が有りましたら、電話かメールをして下さい」と言われ、15時過ぎにアンケートを記入後、終了になりました。

午前中、銚子ジオパーク・芸術センターで蜃気楼についての講義と、真水の入った水槽に砂糖水を注ぎ2層をつくり、光の屈折の実験をした。2層にレーザー光

を斜めに通過させると屈折することが分った。蜃気楼は「光が空気の温度が急に変化する層を通過すると曲がり、いつもと違つた形に見える光学現象」であることが理解できた。

その後、銚子ジオパーク・芸術センターに戻つてまとめを行い、暑い一日は終わつた。

東屋に集まり、屋外で蜃気楼を観察。用意された双眼鏡や望遠レンズで九十九里

方面を見る。海上に浮かぶビルが実際より高く見え

た。参加者全員双眼鏡など

蜃気楼を観察しよう!!

藤身 隆雄

で蜃気楼を確認した。

いちばん身近に見られる

蜃気楼は、アスファルト道路の

やや遠いところに水たまりがあるようなものが見える「逃げ水」だ。路上に水たまりがあるようにならざるを得ないが、実際に濡れておらず、近づくとな

るようにならざるを得ないが、実際に濡れておらず、近づくとな



午前のフィールドワーク終了後、それぞれ昼食をとり、午後の会場銚子ジオパーク・芸術センター実験室に移動。講師から、化石の基礎知識を学んだ後、いよいよ化石レプリカ造りを開始。今回のレプリカ造りはアンモナイト、トリゴニア、サ



植物化石を見つけたようです!!

長時間にわたるツアーアーで疲れた子もいたようだが、作品を手にした子供たちには満足の表情が見られた。



7月30日(土)、曇天で余り暑くなく磯遊びにはとても良い天気でした。事務局の上田専門員、鈴木局員、市民の会から川原、宮内がお手伝いで参加する。10時長崎町防災空地集合、18名の参加者、講師は千葉大学の菊地友則先生です。



始めに資料が配られヤドカリの種類、他の説明を受け、海には毒を持つた危険な生き物がいるので素手で触らず必ず手袋を付けて扱う等の注意事項を聴いて海に向かいました。1時間程度ヤドカリや他の生き物を探集し、11時に磯から上がりバケツを事務局の車に乗せ

蜃氣樓が見えた!!
HPのカラー写真を拡大して見てくださいね



光の屈折実験

昼食後、各自飯岡漁港の東屋に集まり、屋外で蜃氣楼を観察。用意された双眼鏡や望遠レンズで九十九里